

たてしん通信

創刊号



令和 3年10月15日



地域と共に、皆様と共に

館山信用金庫

<http://www.shinkin.co.jp/tateyama/>



たてしん中小企業景況レポート No.15

令和3年(2021年)7月～9月

編集・発行：館山信用金庫
支援部
TEL:0470-29-3015



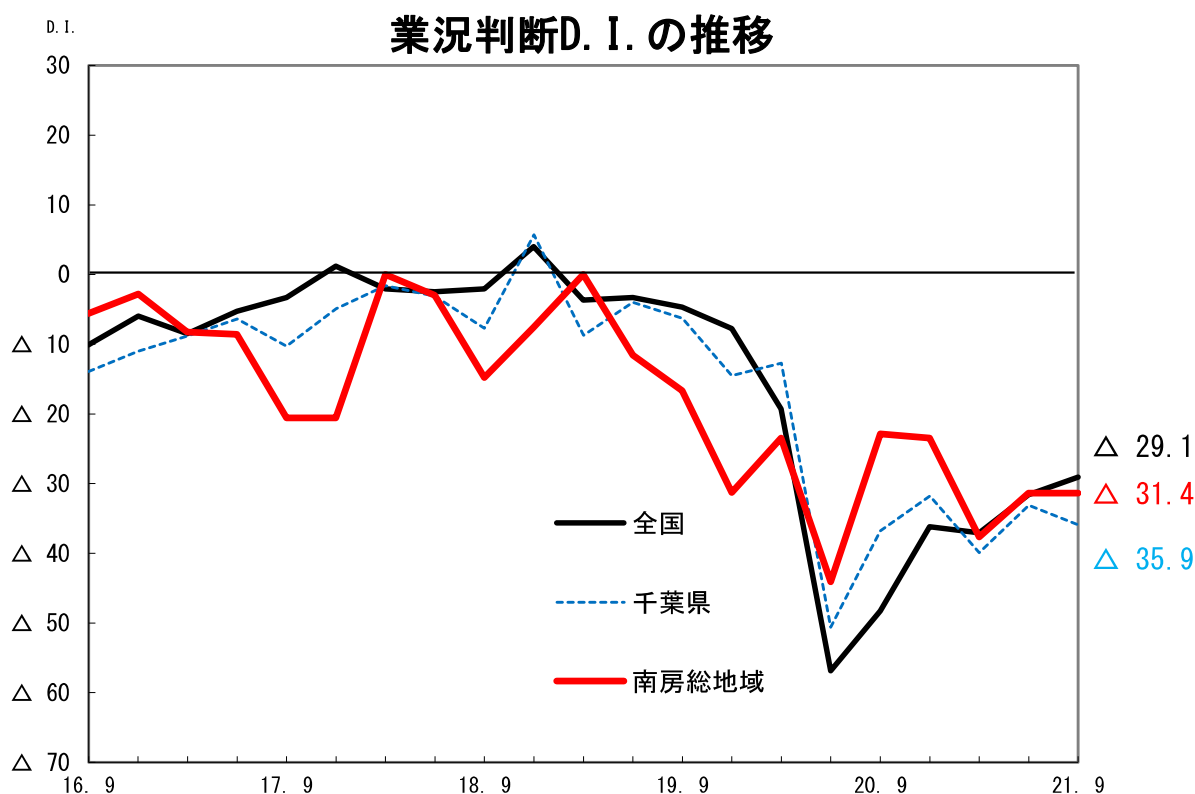
地域と共に、皆様と共に

館山信用金庫

<概況>

令和3年(2021年)7～9月期の全国の業況判断D.I.は $\Delta 29.1$ 、前期に比べ2.5ポイントの改善となった。

なお、今回の業況判断D. I. は、前回調査時における今期見通し($\Delta 31.4$)を2.3ポイント上回った。 ※業況判断D.I. (「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合の差、プラスほど良い)

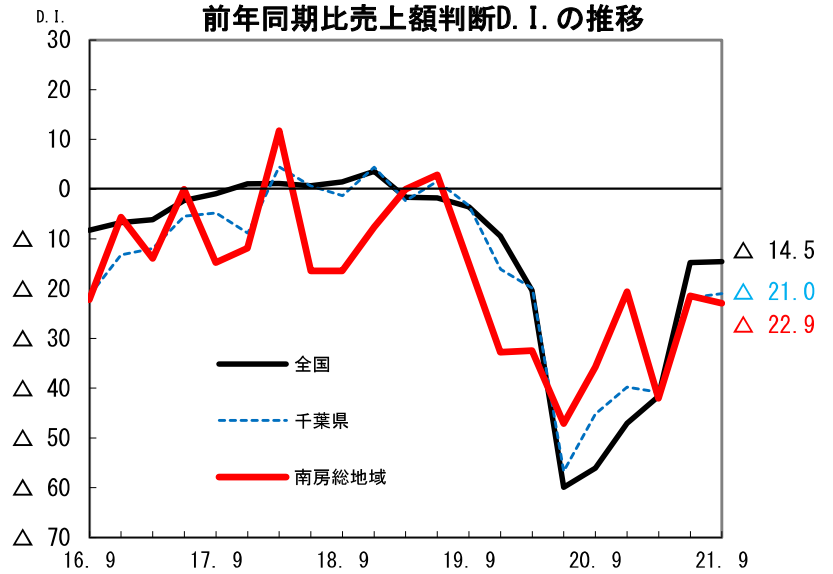


千葉県の業況判断D.I.は $\Delta 35.9$ と、前期に比べ2.8ポイントの低下となった。
南房総地域の業況判断D.I.は $\Delta 31.4$ と、前期と横ばいであった。

※D.I.とは、Diffusion Indexの略で企業の業況感や人員の過不足などの各種判断を指標化したものです

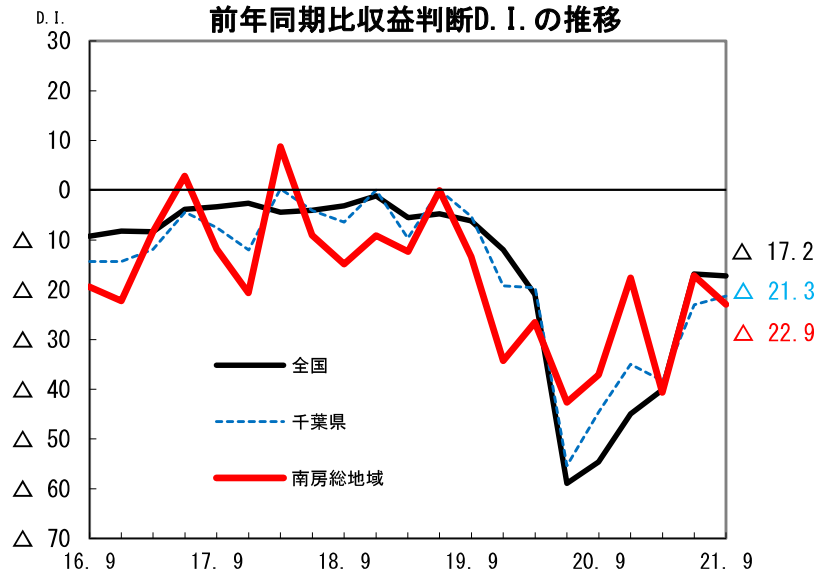
(南房総)
売上は悪化傾向

全国の前年同期比売上額判断D.I.は△14.5と前期比0.2ポイント改善となった。
南房総地域では、△22.9と前期比1.5ポイント低下となった。
※売上額判断D.I.（「増加した」と回答した割合から「減少した」と回答した割合の差、プラスほど良い）



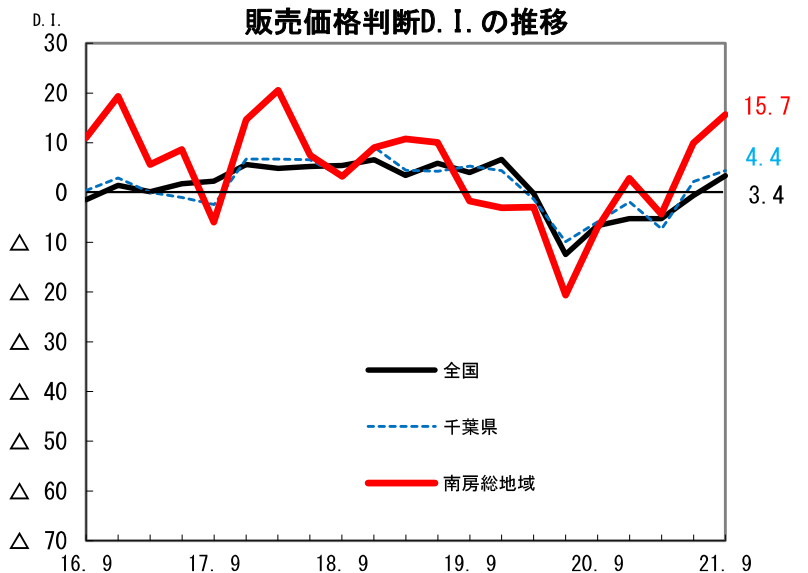
(全国・南房総)
収益は悪化傾向

全国の前年同期比収益判断D.I.は△17.2と前期比0.4ポイント低下した。
南房総地域では、△22.9と前期比5.8ポイント低下となった。
※収益判断D.I.（「増加した」と回答した割合から「減少した」と回答した割合の差、プラスほど良い）



(全国・千葉・南房総)
販売価格は増加傾向

全国の販売価格判断D.I.は3.4と前期比4.0ポイント改善となった。
南房総地域では、15.7と前期比5.7ポイント増加となった。
※販売価格判断D.I.（「上がった」と回答した割合から「下がった」と回答した割合の差、プラスほど販売価格が上昇）

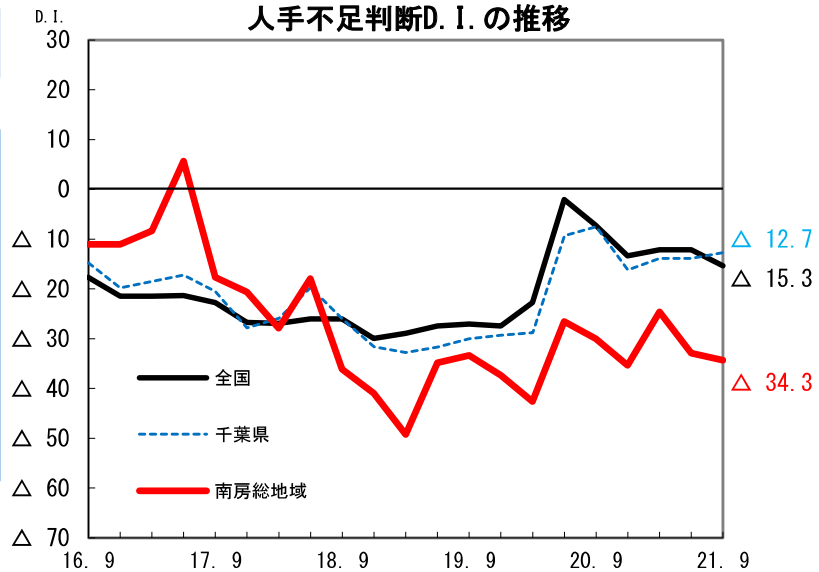


(全国・南房総)
人手不足感は強まり

全国の人手過不足判断D.I.は△15.3と前期比3.2ポイント低下となった。

南房総地域では、△34.3と前期比1.4ポイント低下となった。

※人手過不足判断D.I.（「過剰」と回答した割合から「不足」と回答した割合の差、マイナスほど人手不足）

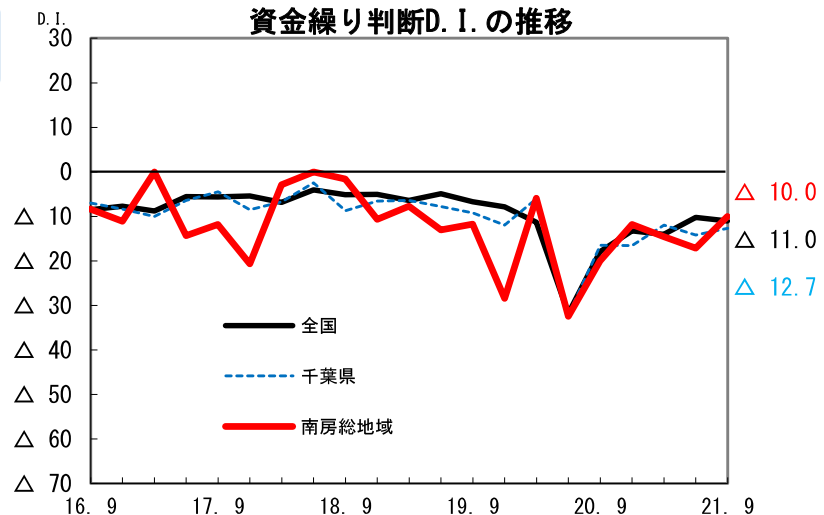


(千葉・南房総)
資金繰りは改善傾向

全国の資金繰り判断D.I.は△11.0と前期比0.8ポイント低下となった。

南房総地域では、△10.0と前期比7.1ポイント改善となった。

※資金繰り判断D.I.（「楽(らく)」と回答した割合から「厳しい」と回答した割合の差、プラスほど良い）

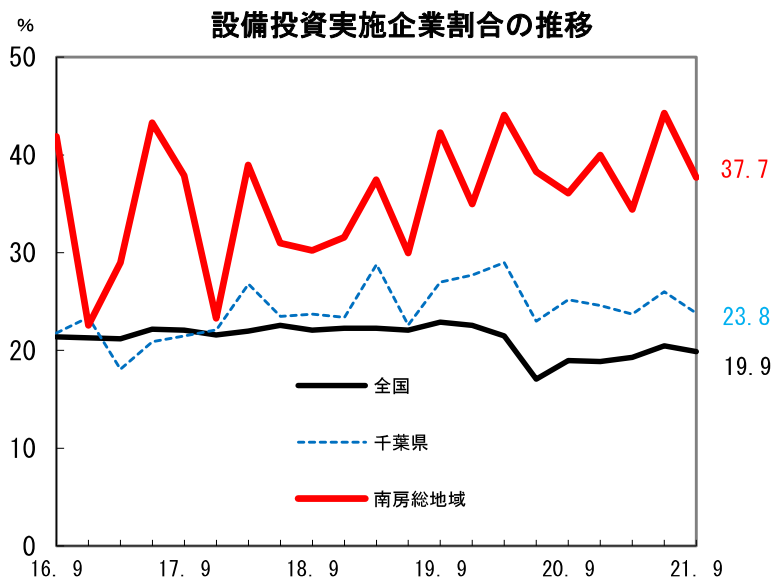


(全国・千葉・南房総)
設備投資は低下傾向

全国の前備投資実施企業割合は19.9%と前期比0.6ポイント低下した。

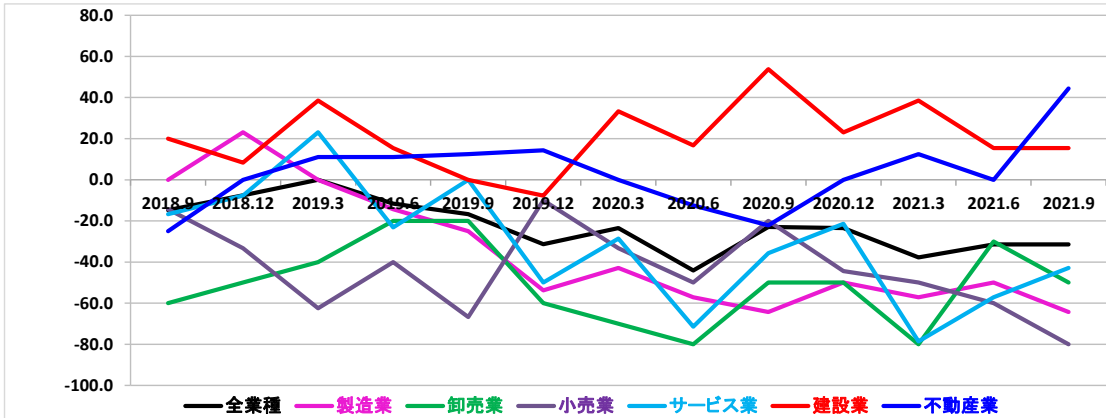
南房総地域では37.7%と前期比6.6ポイントの低下となった。

※設備投資実施企業割合（設備投資を実施した企業の割合）



主要項目時系列表

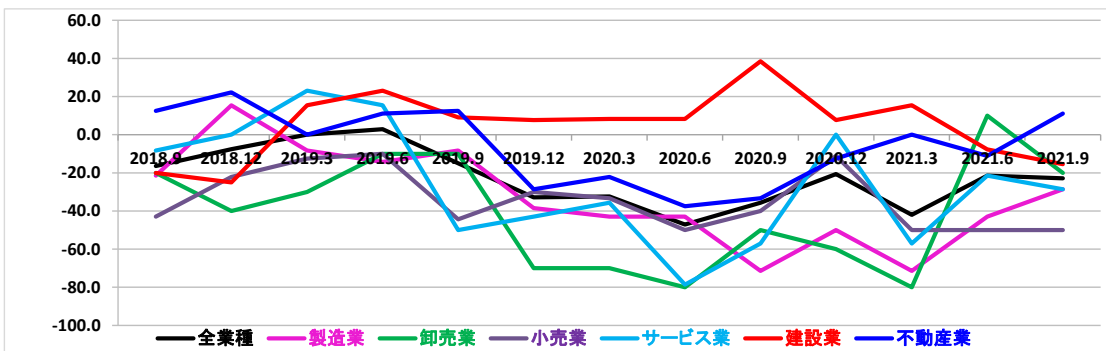
業況判断 D.I



区分	2018.9	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12
全業種	-14.8	-7.6	0.0	-11.6	-16.7	-31.3	-23.5	-44.1	-22.9	-23.5	-37.7	-31.4	-31.4	-40.0
製造業	0.0	23.1	0.0	-14.3	-25.0	-53.8	-42.9	-57.1	-64.3	-50.0	-57.1	-50.0	-64.3	-50.0
卸売業	-60.0	-50.0	-40.0	-20.0	-20.0	-60.0	-70.0	-80.0	-50.0	-50.0	-80.0	-30.0	-50.0	-50.0
小売業	-14.3	-33.3	-62.5	-40.0	-66.7	-10.0	-33.3	-50.0	20.0	-44.4	-50.0	-60.0	-80.0	-70.0
サービス業	-16.7	-7.7	23.1	-23.1	0.0	-50.0	-28.6	-71.4	-35.7	-21.4	-78.6	-57.1	-42.9	-57.1
建設業	20.0	8.3	38.5	15.4	0.0	-7.7	33.3	16.7	53.8	23.1	38.5	15.4	15.4	0.0
不動産業	-25.0	0.0	11.1	11.1	12.5	14.3	0.0	-12.5	-22.2	0.0	12.5	0.0	44.4	-11.1

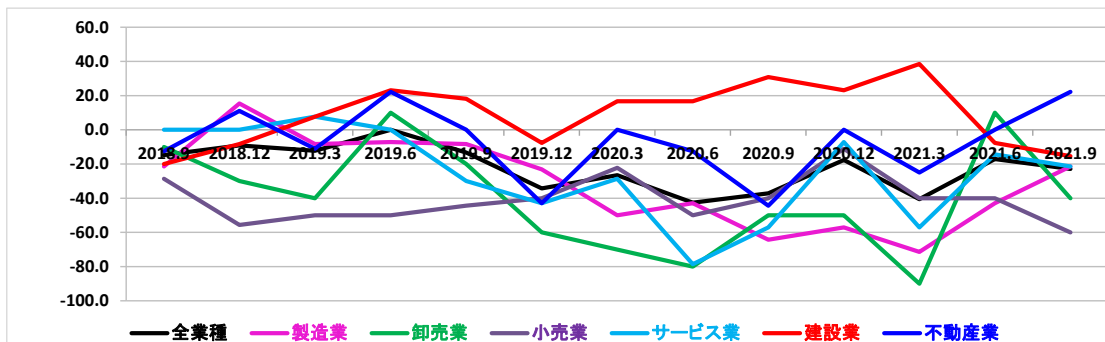
※ 2021.12は、見通しである。

売上額判断 D.I (前年同期比)



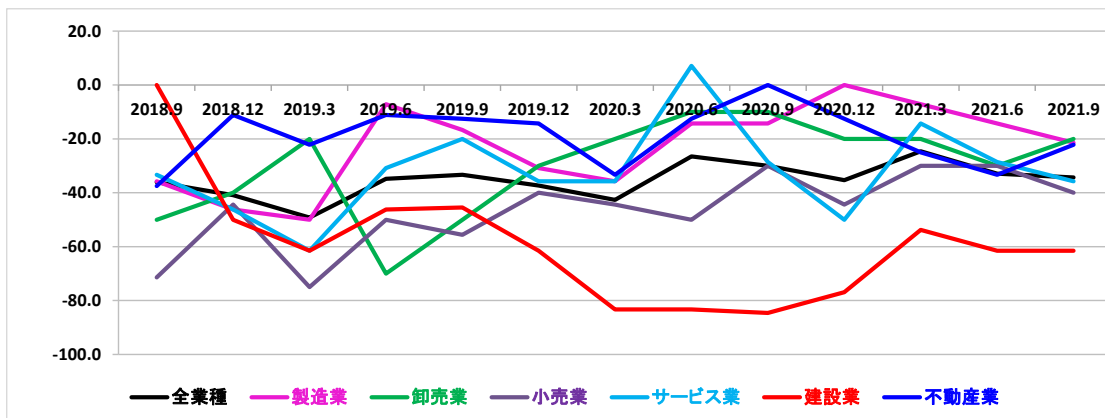
区分	2018.9	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9
全業種	-16.4	-7.6	0.0	2.9	-15.0	-32.8	-32.4	-47.1	-35.7	-20.6	-42.0	-21.4	-22.9
製造業	-21.4	15.4	-8.3	-14.3	-8.3	-38.5	-42.9	-42.9	-71.4	-50.0	-71.4	-42.9	-28.6
卸売業	-20.0	-40.0	-30.0	-10.0	-10.0	-70.0	-70.0	-80.0	-50.0	-60.0	-80.0	10.0	-20.0
小売業	-42.9	-22.2	-12.5	-10.0	-44.4	-30.0	-33.3	-50.0	-40.0	-11.1	-50.0	-50.0	-50.0
サービス業	-8.3	0.0	23.1	15.4	-50.0	-42.9	-35.7	-78.6	-57.1	0.0	-57.1	-21.4	-28.6
建設業	-20.0	-25.0	15.4	23.1	9.1	7.7	8.3	8.3	38.5	7.7	15.4	-7.7	-15.4
不動産業	12.5	22.2	0.0	11.1	12.5	-28.6	-22.2	-37.5	-33.3	-12.5	0.0	-11.1	11.1

収益判断 D.I (前年同期比)



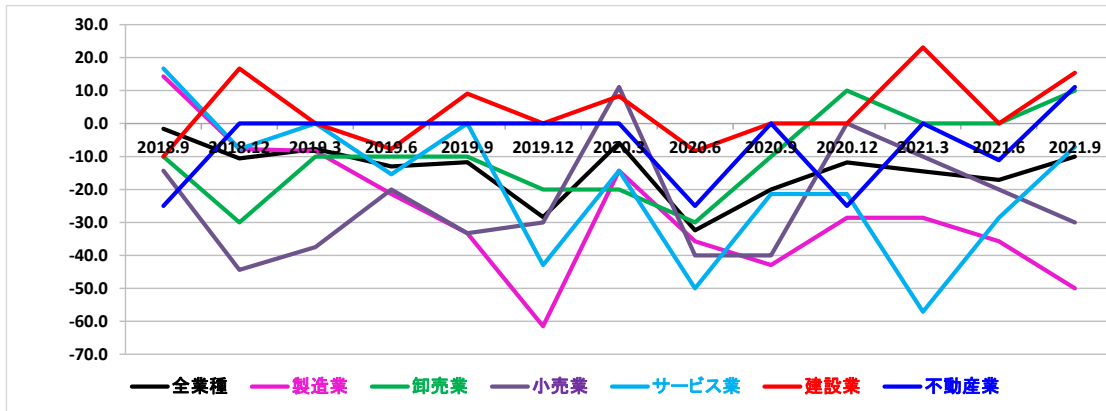
区分	2018.9	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9
全業種	-14.8	-9.1	-12.3	0.0	-13.3	-34.3	-26.5	-42.6	-37.1	-17.6	-40.6	-17.1	-22.9
製造業	-21.4	15.4	-8.3	-7.1	-8.3	-23.1	-50.0	-42.9	-64.3	-57.1	-71.4	-42.9	-21.4
卸売業	-10.0	-30.0	-40.0	10.0	-20.0	-60.0	-70.0	-80.0	-50.0	-50.0	-90.0	10.0	-40.0
小売業	-28.6	-55.6	-50.0	-50.0	-44.4	-40.0	-22.2	-50.0	-40.0	-11.1	-40.0	-40.0	-60.0
サービス業	0.0	0.0	7.7	0.0	-30.0	-42.9	-28.6	-78.6	-57.1	-7.1	-57.1	-14.3	-21.4
建設業	-20.0	-8.3	7.7	23.1	18.2	-7.7	16.7	16.7	30.8	23.1	38.5	-7.7	-15.4
不動産業	-12.5	11.1	-11.1	22.2	0.0	-42.9	0.0	-12.5	-44.4	0.0	-25.0	0.0	22.2

人手不足判断 D.I (過剰-不足)



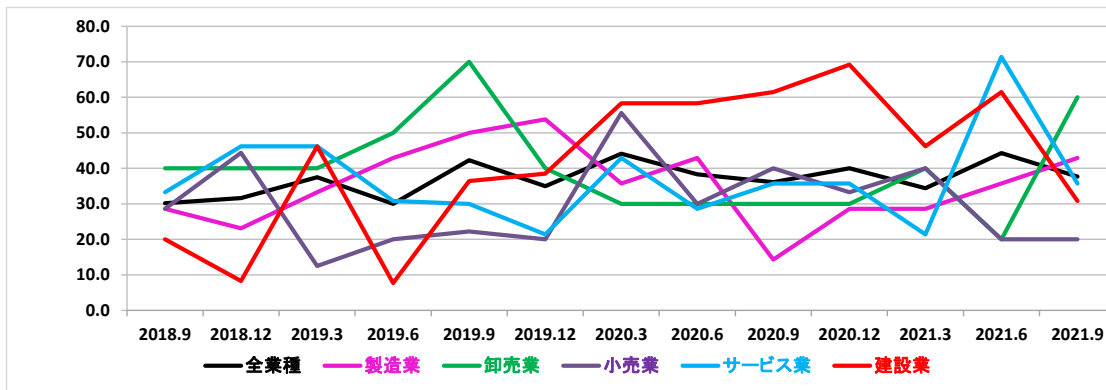
区分	2018.9	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9
全業種	-36.1	-40.9	-49.2	-34.8	-33.3	-37.3	-42.6	-26.5	-30.0	-35.3	-24.6	-32.9	-34.3
製造業	-35.7	-46.2	-50.0	-7.1	-16.7	-30.8	-35.7	-14.3	-14.3	0.0	-7.1	-14.3	-21.4
卸売業	-50.0	-40.0	-20.0	-70.0	-50.0	-30.0	-20.0	-10.0	-10.0	-20.0	-20.0	-30.0	-20.0
小売業	-71.4	-44.4	-75.0	-50.0	-55.6	-40.0	-44.4	-50.0	-30.0	-44.4	-30.0	-30.0	-40.0
サービス業	-33.3	-46.2	-61.5	-30.8	-20.0	-35.7	-35.7	7.1	-28.6	-50.0	-14.3	-28.6	-35.7
建設業	0.0	-50.0	-61.5	-46.2	-45.5	-61.5	-83.3	-83.3	-84.6	-76.9	-53.8	-61.5	-61.5
不動産業	-37.5	-11.1	-22.2	-11.1	-12.5	-14.3	-33.3	-12.5	0.0	-12.5	-25.0	-33.3	-22.2

資金繰り判断 D.I (楽-苦)



区分	2018.9	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9
全業種	-1.6	-10.6	-7.7	-13.0	-11.7	-28.4	-5.9	-32.4	-20.0	-11.8	-14.5	-17.1	-10.0
製造業	14.3	-7.7	-8.3	-21.4	-33.3	-61.5	-14.3	-35.7	-42.9	-28.6	-28.6	-35.7	-50.0
卸売業	-10.0	-30.0	-10.0	-10.0	-10.0	-20.0	-20.0	-30.0	-10.0	10.0	0.0	0.0	10.0
小売業	-14.3	-44.4	-37.5	-20.0	-33.3	-30.0	11.1	-40.0	-40.0	0.0	-10.0	-20.0	-30.0
サービス業	16.7	-7.7	0.0	-15.4	0.0	-42.9	-14.3	-50.0	21.4	-21.4	-57.1	-28.6	-7.1
建設業	-10.0	16.7	0.0	-7.7	9.1	0.0	8.3	-8.3	0.0	0.0	23.1	0.0	15.4
不動産業	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-11.1	11.1

設備投資実施企業割合 (%)

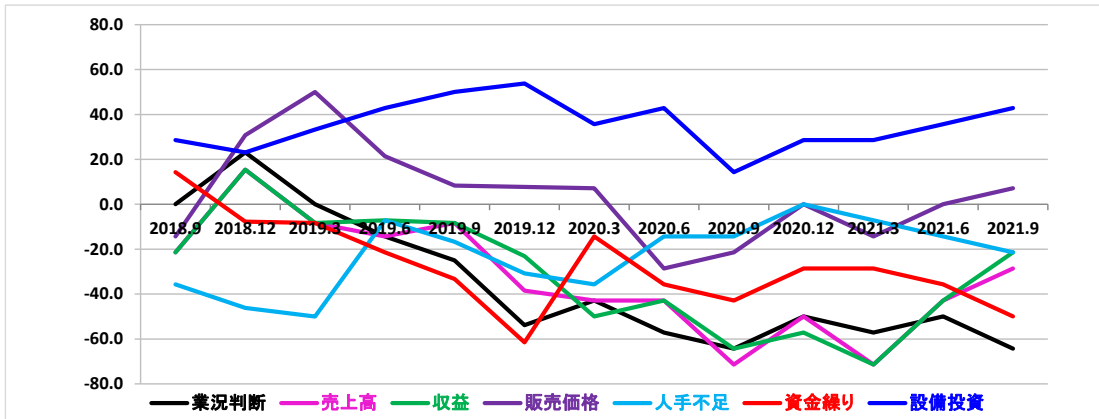


区分	2018.9	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9
全業種	30.2	31.6	37.5	30.0	42.3	35.0	44.1	38.3	36.1	40.0	34.4	44.3	37.7
製造業	28.0	23.1	33.3	42.9	50.0	53.8	35.7	42.9	14.3	28.6	28.6	35.7	42.9
卸売業	40.0	40.0	40.0	50.0	70.0	40.0	30.0	30.0	30.0	30.0	40.0	20.0	60.0
小売業	28.6	44.4	12.5	20.0	22.2	20.0	55.6	30.0	40.0	33.3	40.0	20.0	20.0
サービス業	33.3	46.2	46.2	30.8	30.0	21.4	42.9	28.6	35.7	35.7	21.4	71.4	35.7
建設業	20.0	8.3	46.2	7.7	36.4	33.3	58.3	58.3	61.5	69.2	46.2	61.5	30.8

※ 不動産業は、調査対象外である。

業種別時系列表

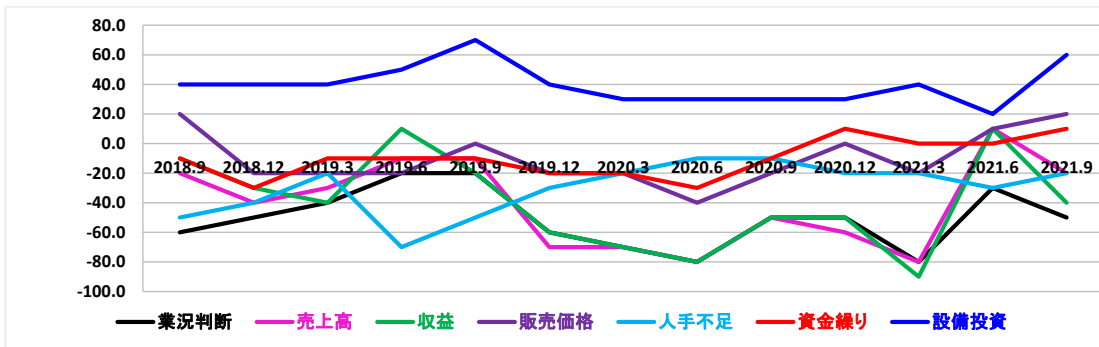
製造業



区分	2018.9	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12
業況判断	0.0	23.1	0.0	-14.3	-25.0	-53.8	-42.9	-57.1	-64.3	-50.0	-57.1	-50.0	-64.3	-50.0
売上高	-21.4	15.4	-8.3	-14.3	-8.3	-38.5	-42.9	-42.9	-71.4	-50.0	-71.4	-42.9	-28.6	-21.4
収益	-14.3	30.8	50.0	21.4	8.3	7.7	7.1	-28.6	-21.4	0.0	-14.3	0.0	7.1	7.1
販売価格	-35.7	-46.2	-50.0	-7.1	-16.7	-30.8	-35.7	-14.3	-14.3	0.0	-7.1	-14.3	-21.4	-21.4
人手不足	14.3	-7.7	-8.3	-21.4	-33.3	-61.5	-14.3	-35.7	-42.9	-28.6	-28.6	-35.7	-50.0	-50.0
設備投資	28.6	23.1	33.3	42.9	50.0	53.8	35.7	42.9	14.3	28.6	28.6	35.7	42.9	42.9

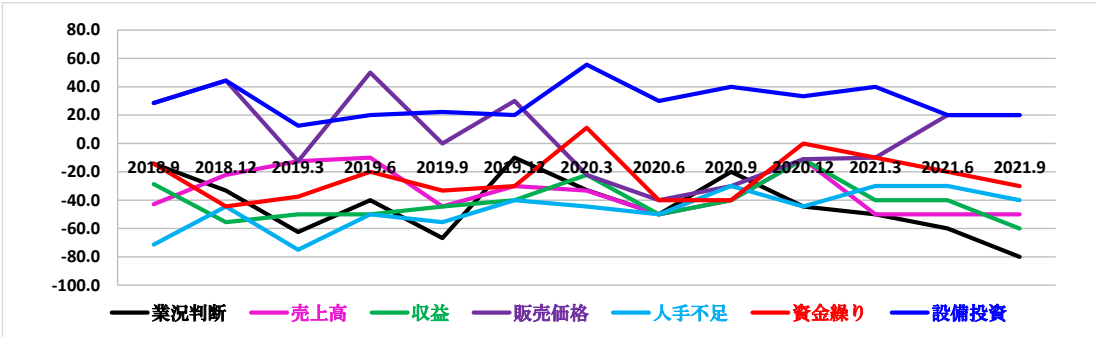
※ 2021.12は、見通しである。

卸売業



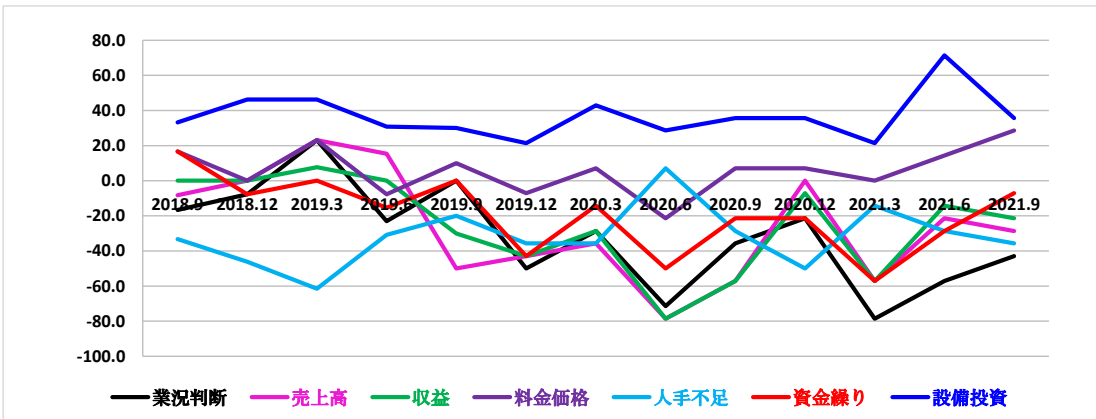
区分	2018.9	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12
業況判断	-60.0	-50.0	-40.0	-20.0	-20.0	-60.0	-70.0	-80.0	-50.0	-50.0	-80.0	-30.0	-50.0	-50.0
売上高	-20.0	-40.0	-30.0	-10.0	-10.0	-70.0	-70.0	-80.0	-50.0	-60.0	-80.0	10.0	-20.0	-20.0
収益	-10.0	-30.0	-40.0	10.0	-20.0	-60.0	-70.0	-80.0	-50.0	-50.0	-90.0	10.0	-40.0	-40.0
販売価格	20.0	-20.0	-20.0	-20.0	0.0	-20.0	-20.0	-40.0	-20.0	0.0	-20.0	10.0	20.0	20.0
人手不足	-50.0	-40.0	-20.0	-70.0	-50.0	-30.0	-20.0	-10.0	-10.0	-20.0	-20.0	-30.0	-20.0	-20.0
資金繰り	-10.0	-30.0	-10.0	-10.0	-10.0	-20.0	-20.0	-30.0	-10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0
設備投資	40.0	40.0	40.0	50.0	70.0	40.0	30.0	30.0	30.0	30.0	40.0	20.0	60.0	60.0

小売業



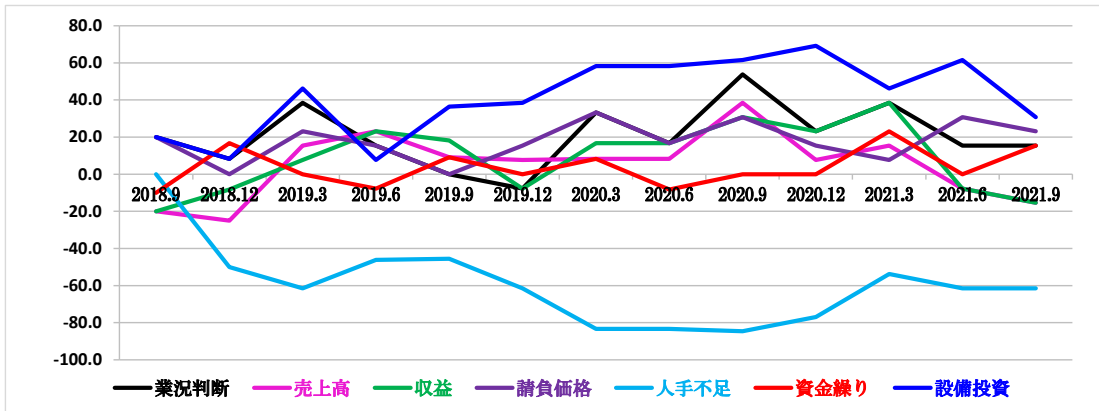
区分	2018.9	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12
業況判断	-14.3	-33.3	-62.5	-40.0	-66.7	-10.0	-33.0	-50.0	-20.0	-44.4	-50.0	-60.0	-80.0	-70.0
売上高	-42.3	-22.2	-12.5	-10.0	-44.4	-30.0	-33.3	-50.0	-40.0	-11.1	-50.0	-50.0	-50.0	-50.0
収益	28.6	-55.6	50.0	-50.0	-44.4	-40.0	-22.2	-50.0	40.0	-11.1	-40.0	-40.0	-60.0	-60.0
販売価格	28.6	44.4	-12.5	50.0	0.0	30.0	-22.2	-40.0	-30.0	-11.1	-10.0	20.0	20.0	20.0
人手不足	-71.4	-44.4	-75.0	-50.0	-55.6	-40.0	-44.4	-50.0	-30.0	-44.4	-30.0	-30.0	-40.0	-40.0
資金繰り	-14.3	-44.4	-37.5	-20.0	-33.3	-30.0	11.1	-40.0	-40.0	0.0	-10.0	-20.0	-30.0	-30.0
設備投資	28.6	44.4	12.5	20.0	22.2	20.0	55.6	30.0	40.0	33.3	40.0	20.0	20.0	20.0

サービス業



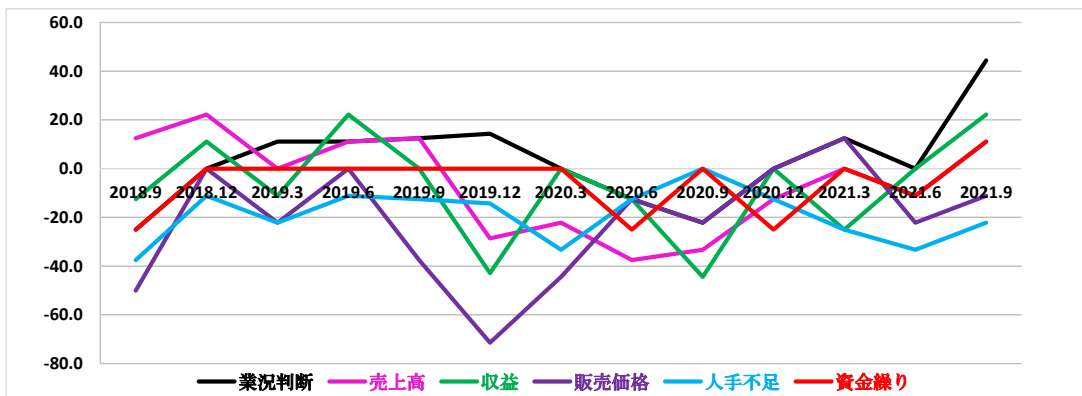
区分	2018.9	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12
業況判断	-16.7	-7.7	23.1	-23.1	0.0	-50.0	-28.6	-71.4	-35.7	-21.4	-78.6	-57.1	-42.9	-57.1
売上高	-5.3	0.0	23.1	15.4	-50.0	-42.9	-35.7	-78.6	-57.1	0.0	-57.1	-21.4	-28.6	-28.6
収益	0.0	0.0	7.7	0.0	-30.0	-42.9	-28.6	-78.6	-57.1	-7.1	-57.1	-14.3	-21.4	-21.4
料金価格	16.7	0.0	23.1	-7.7	10.0	-7.1	7.1	-21.4	7.1	7.1	0.0	14.3	28.6	28.6
人手不足	-33.3	-46.2	-61.5	-30.3	-20.0	-35.7	-35.7	7.1	-28.6	-50.0	-14.3	-28.6	-35.7	-35.7
資金繰り	16.7	-7.7	0.0	-15.4	0.0	-42.9	-14.3	-50.0	-21.4	-21.4	57.1	-28.6	-7.1	-7.1
設備投資	33.3	46.2	46.2	30.3	30.0	21.4	42.9	28.6	35.7	35.7	21.4	71.4	35.7	35.7

建設業



区分	2018.9	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12
業況判断	20.0	8.3	38.5	15.4	0.0	-7.7	33.3	16.7	53.8	23.1	38.5	15.4	15.4	0.0
売上高	-20.0	-25.0	15.4	23.1	9.1	7.7	8.3	8.3	38.5	7.7	15.4	-7.7	-15.4	
収益	-20.0	-8.3	7.7	23.1	18.2	-7.7	16.7	16.7	30.8	23.1	38.5	-7.7	-15.4	
請負価格	20.0	0.0	23.1	15.4	0.0	15.4	33.3	16.7	30.8	15.4	7.7	30.8	23.1	
人手不足	0.0	-50.0	-61.5	-46.2	-45.5	-61.5	-83.3	-83.3	-84.8	-76.9	-53.8	-61.5	-61.5	
資金繰り	-10.0	16.7	0.0	-7.7	9.1	0.0	8.3	-8.3	0.0	0.0	23.1	0.0	15.4	
設備投資	20.0	8.3	46.2	7.7	36.4	38.5	58.3	58.3	61.5	69.2	46.2	61.5	30.8	

不動産業



区分	2018.9	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12
業況判断	-25.0	0.0	11.1	11.1	12.5	14.3	0.0	-12.5	-22.2	0.0	12.5	0.0	44.4	-11.1
売上高	12.5	22.2	0.0	11.1	12.5	-28.6	-22.2	-37.5	-33.3	-12.5	0.0	-11.1	11.1	
収益	-12.5	11.1	-11.1	22.2	0.0	-42.9	0.0	-12.5	-44.4	0.0	-25.0	0.0	22.2	
販売価格	-50.0	0.0	-22.2	0.0	-37.5	-71.4	-44.4	-12.5	-22.2	0.0	12.5	-22.2	-11.1	
人手不足	-37.5	-11.1	-22.2	-11.1	-12.5	-14.3	-33.3	-12.5	0.0	-12.5	-25.0	-33.3	-22.2	
資金繰り	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-11.1	11.1	

※ 設備投資は、調査対象外である。

たてしん中小企業景況レポート No. 15 特徴等
(令和3年(2021年)7月~9月)

- 業況判断 D. I. を見ると、全国は前期比 2.5 ポイント改善の $\Delta 29.1$ となり、千葉県では前期比 2.8 ポイント低下の $\Delta 35.9$ 、南房総地域は前期比横ばいの $\Delta 31.4$ という結果となりました。
次期の予想業況判断 D. I. については、全国($\Delta 26.9$)、千葉県($\Delta 32.7$)、南房総地域($\Delta 40.0$)と、全国及び千葉県が改善見込みである一方、南房総地域のみ今回調査時より悪化が見込まれています。
- 南房総地域の業況判断 D. I. (前期比)の業種別では、製造業が $\Delta 64.3$ (前期比 $\Delta 14.3$)、卸売業が $\Delta 50.0$ (前期比 $\Delta 20.0$)、小売業が $\Delta 80.0$ (前期比 $\Delta 20.0$)、サービス業が $\Delta 42.9$ (前期比 $+14.2$)と、調査時点では、緊急事態宣言解除の見通しかなかったことから、引き続き低水準となっています。一方で、建設業が 15.4 (前期比 ± 0.0)、不動産業が 44.4(前期比 $+44.4$)と他業種に比べて高水準であり、特に不動産業に関してはコロナ禍における 2 拠点生活需要(別荘需要)や中古物件需要により業況が良好であることなどから、プラスの結果になったと推測されます。
- 次期の見込みについては、卸売業が横ばい、製造業・小売業がやや改善するのに対して、サービス業、建設業、不動産業では悪化を予想しています。特に不動産業においては $\Delta 11.1$ (今期比 $\Delta 55.5$)と大幅な悪化を見込んでいますが、これは比較的好調だった業況が大きく落ち着くと見込んでいることや、季節的な要因が重なることが推測されます。
- 売上額判断 D. I. (前年同期比・南房総地域)を見ると、業種別では製造業と不動産業が増加、小売業が横ばいであり、その他の業種では売上が前期より減少している傾向があると言えます。特に卸売業は前回調査時において改善傾向にあったものの、 $\Delta 20.0$ (前期比 $\Delta 30.0$)と大きく減少しており、緊急事態宣言の影響に加え、前年は GoTo キャンペーン等の施策があったことから、前年同期比で見ると業況が悪化していることが推測されます。
- 収益判断 D. I. (前年同期比・南房総地域)も同様に、業種別では製造業と不動産業が増加傾向となっています。その他の業種については、卸売業で $\Delta 40.0$ (前期比 $\Delta 50.0$)、小売業で $\Delta 60.0$ (前期比 $\Delta 20.0$)、サービス業で $\Delta 21.4$ (前期比 $\Delta 7.1$)、建設業で $\Delta 15.4$ (前期比 $\Delta 7.7$)という結果となり、特に卸売業とサービス業は、前回調査時に回復傾向が見られましたが、今回調査において悪化とな

りました。

- 人手不足判断 D. I. については、千葉県は若干改善、全国、南房総地域は悪化となりました。南房総地域については、前回調査時に引続き悪化傾向が見られました。業種別に見ると、卸売業、不動産業では回復傾向となっており、建設業は横ばいであるものの、水準は $\Delta 61.5$ と大きくマイナスとなっています。
- 資金繰り判断 D. I. (南房総地域)は、前期比 7.1 ポイント改善し $\Delta 10.0$ となっています。業種別では、製造業 $\Delta 50.0$ (前期比 $\Delta 14.3$)、小売業 $\Delta 30.0$ (前期比 $\Delta 10.0$) の 2 業種が、業況悪化に伴い資金繰りも悪化しています。なお、これらを除く 4 業種においては改善傾向にあり、サービス業 (特に飲食業) においては協力金の給付があり、比較的資金繰りが改善されつつあると推測されます。
- 南房総地域の設備投資実施企業割合は 37.7%と前期比 6.6 ポイント低下しましたが、全国・千葉県に比べて引き続き高水準を維持しています。
- 今回の特別調査では「中小企業の雇用環境」について確認しました。「人手の過不足状況とその職域」については、南房総地域では「人手不足」(64.6% : 42 件)、「人手過剰」(4.6% : 3 件)、「適正」(30.8% : 20 件)と、人手不足感が全国を上回る結果となりました。特に「人手不足」の内訳としては、「現場作業関係」が過半数を占めており、「営業・販売関係」が次いで多く挙げられました。なお、人材確保のための職場環境改善策としては、「賃金引上げと労働生産性の向上」、「人材育成」、「長時間労働の是正」等が挙げられており、「高齢者の就業促進」が全国の倍程度の割合であることも特徴的です。南房総地域の現状として、「現場作業関係」の求人募集が多く、対して応募が多いのは「事務関係」というミスマッチが起きている傾向にあります。「賃金の引上げ等」が対応策として多く挙げられていますが、根本的な問題である雇用のミスマッチを解消していくことが、今後の重大な課題であります。
- 地域金融機関に融資以外の点で求められることは「補助金・助成金の紹介」が最も高くなっています。新商品や新サービスの展開で活用可能性のある補助金として、令和 2 年度 3 次補正予算で、「事業再構築補助金」が公募開始しています。補助額 100 万~6,000 万円、補助率 2 分の 1~3 分の 2 で、「事業の再構築を行う」ことが対象となります。補助金の申請については、当金庫が提携をしている千葉県中小企業診断士協会のご紹介も可能ですので、お声掛け下さい。

中小企業の雇用環境について ※抜粋

人手の過不足状況とその職域				人材確保のために、地域金融機関に融資以外の点で求めること(複数回答)					
項目		全国	南房総	人手の過不足状況は、全国では「適正」が最も多かった。一方、南房総地域では「人手不足」が多く、内訳としては「現場作業関係」が過半数を占めた。	項目		全国	南房総	人材確保のために地域金融機関に求めることについては、全国・南房総地域ともに「補助金・助成金の紹介」が最も多い結果となった。
人手不足		37.0%	64.6%		補助金・助成金紹介	44.7%	45.5%		
内訳	現場作業関係	25.1%	40.0%		先進事例紹介	11.7%	25.8%		
	営業・販売関係	8.5%	20.0%		人材の紹介・派遣	15.5%	21.2%		
	経理・財務・管理関係	2.3%	4.6%		情報提供(採用関係)	8.1%	12.1%		
	その他の職域	1.1%	0.0%		社労士等専門家紹介	2.4%	6.1%		
人手過剰		4.2%	4.6%		従業員研修の実施	5.9%	4.5%		
内訳	現場作業関係	2.7%	3.1%		その他	15.1%	6.0%		
	営業・販売関係	0.9%	1.5%		特に求めている	37.1%	31.8%		
	経理・財務・管理関係	0.4%	0.0%						
	その他の職域	0.2%	0.0%						
適正		58.9%	30.8%						

人材確保のための職場環境改善へ向けた取組み(複数回答)				
項目		全国	南房総	人材確保のための職場環境改善策については「特になし」を除き、全国では「人材育成」が最も多く、南房総地域では2番目に多かった。一方、南房総地域では「賃金引上げと労働生産性の向上」が最も多く挙げられた。その他多く挙げられたのは、「長時間労働の是正」、「高齢者の就業促進」、「女性・若者が活躍しやすい環境整備」等である。特に「高齢者の就業促進」については、全国では11.8%であるが、南房総地域では23.5%と全国の倍程度であることが特徴的である。また、「テレワーク、副業・兼業などの柔軟な働き方」については、全国では5.2%であるが、南房総地域では0.0%となっており、取組みが進んでいないことが伺えた。
同一労働・同一賃金など非正規雇用の処遇		6.3%	8.8%	
賃金引上げと労働生産性の向上		21.0%	30.9%	
長時間労働の是正		23.5%	26.5%	
人材育成		26.9%	27.9%	
テレワーク、副業・兼業などの柔軟な働き方		5.2%	0.0%	
女性・若者が活躍しやすい環境整備		16.7%	22.1%	
高齢者の就業促進		11.8%	23.5%	
病気の治療、子育て・介護と仕事の両立		4.6%	4.4%	
外国人等多様な人材の受入れ		5.6%	7.4%	
特になし		38.1%	25.0%	

<調査の概要>

- ①調査時点: 令和3年(2021年)9月1日～7日
- ②調査方法: 当金庫による面接聞き取り方式、または対象企業先による直接記入方式。
なお、全国および千葉県は信金中央金庫地域・中小企業研究所の調査による。
- ③分析方法: 各質問項目で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(D.I.)を中心に分析。
- ④調査地域: 当金庫の調査地域(南房総地域)は、千葉県館山市、南房総市、鴨川市、鋸南町の3市1町。
- ⑤対象企業: 全国の信用金庫の取引先で、特に回答企業のうち従業員20名未満の企業が7割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体。
- ⑥標本数: 15,275企業(有効回答数13,734企業・回答率89.9%)
千葉県330企業(有効回答数315企業・回答率96.0%)
南房総地域 70企業(有効回答数70企業・回答率100%)
※18年3月期に当地域の標本数34から70に変更しています。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。

袖ヶ浦支店のオープンについて

10月1日(金)、木更津支店の店舗内店舗として、“袖ヶ浦支店が”オープンしました。

袖ヶ浦市はアクアライン効果により県内でも活気のある地域であり、その元気を南房総地域にも広げたく出店させていただくこととなりました。

袖ヶ浦駅前に建設中の店舗が完成する12月3日(金)には、新築移転する予定となっております。

地域の皆さまに愛され、親しまれる店舗となりますよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



袖ヶ浦支店開設の様子

意見交換会でレポート発表

「房総人財 育英基金」6人の大学生モニタールが、地域企業、個人で組むに賛同する地元企業を「房総人財育英基金」個人で組織した「基金」の大学生モニタール「房総人財育英基金」が15日、館山市の館山山信用金庫本店ビルで、地元高校を卒業した大学生を委嘱して6人がレポート発表し、現在は2期生から5期生までの計19人が在籍。学生らは事務局の館山信金副が選定し、進学後も地元に関心を持ってもらい、将来テーマで年2回来この地域で活躍する人材の育成を図る。提出に合わせ意見交換と平成29年に同金庫をすることになった。その後、趣向。



レポート発表する大学生＝館山

意見交換会には、学6人が出席。学生らは総エリアのニュースと生6人に同基金の会員「最近気になった南房総」と「都圏と南房総地域との働き方の違い」といったテーマで作成したレポートをそれぞれ発表し、その後、レポート内容などについて基金会員と意見を交わした。

令和3年9月23日 房日新聞

「たてしん」近況のご報告

18期連続の黒字に

自己資本比率 県下信用金庫トップ

館山信用金庫(利田) 承継された令和3年3月期決算では、本業純利益が22億、純のものを示す業務純益が2億6000万円、当期純利益は2億1000万円、前年より15.05%増加し、0.97ポイント増加し、国内基準の4%を大きく上回り、県下信用金庫の中でトップを維持している。

任期中に伴う理事の改選が行われ、利田秀男、瀧澤文雄、高梨良雄、北原栄、金井勝、本間孝、村松智子の各氏が再任され、立川久代氏が新しく選任された。その後、開催された理事会で、理事長に利田秀男氏が再任され、常務理事には渡邊文雄氏が選任された。

あいさつする利田理事長＝館山



同金庫では、「地域と共に、皆様と共に」の経営理念のもと、市町や経済団体等と連携して地域の活性化に取り組む、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う中小企業等に対する継続的な伴走型の経営相談や経営支援力を進め、創100周年に向けて持続的な成長・発展のチャンスをつくりに取り組む。引き続き、信頼の確保に努めていきたいとしている。

令和3年6月24日 房日新聞

31人で第4期スタート

たてしん経営者、コロナ時代の対応講義

地域の若手経営者の次世代経営者のネットワークづくりも狙い。後継者、経営幹部を対象とした館山信用金庫の第4期「たてしん経営塾」が23日、開校した。4期生は31人で、コロナ時代に対応した経営について1年間講義を受ける。経営力の強化に向けて財務や事業戦略などを学ぶ講座で、異業種



開校式に出席した来賓と塾生ら＝館山

とされている。これまで3期で計86人が参加。修了生を中心に5回の講義が予定されている。館山商工会館であった開校式は、委員長でもある同金庫の利田秀男理事長があいさつに立ち、「Withコロナ時代には新しい方法で行動できる、新しい人間が必要で、新しい人がその時代のイノベーションを引き起こす」と強調し、「令和の時代を担う皆さまが、新しい人材とならなればならない。房総の行末は皆さんの双肩にかかっている。大いに議論し交流し、学びを深めてほしい」と呼び掛けた。式後には、早速第1回の講義があり、参加者らは経営への学びを深めていた。

令和3年7月23日 房日新聞



【千倉支店お取引先】

美浜寿し 様
 〒299-2521
 南房総市白子2565-2
 ☎0470-46-3565
<http://mihamazushi.web.fc2.com/>

【お店から】

山盛りの海の幸といえば美浜寿しです。
 店主は銀座での修業後、海外での仕事経験もある、国際派寿司職人です。
 海外勤務の経験を生かした変わり寿司や、これからの新しい鮎の創造にも力を入れております。
 最高のロケーションで、超新鮮な地魚たちを、お腹一杯食べてみませんか？
 南房総にお越しの際は、ぜひ「美浜寿し」に足をお運びください。

【鋸南支店お取引先】

(有)高山製菓 様
 〒299-2223
 南房総市高崎1355
 ☎0470-57-3325
<http://www.takayamaseika.jp/>

【お店から】

家族で経営するアットホームなお店です。
 地元のびわを使ったお菓子をはじめ、和菓子、洋菓子(ケーキ類)があります。
 特に自家製の“あん”にこだわっております。



お客さまご紹介コーナー

【本店お取引先】

(有)総合メンテナンス
 LAUNDRY&CAFÉ MAKANA 様
 〒294-0051
 館山市正木1723-1
 ☎0470-27-3100(担当:嶋田)
<https://laundrycafemakana.wixsite.com/my-site-1>

【お店から】

日々続く洗濯をもっと快適に、そしてちょっとだけ贅沢に・・・
 そんな思いでこの店をオープンさせました。
 ロコモコやパキをはじめとする、ハワイの家庭的な料理の他、人気のパンケーキや生シェイクなどを取りそろえてお待ちしております。

カフェ 平日9:00～18:00
 土日祝9:00～17:00
 火曜、第2、4水曜定休

ランドリー 年中無休 24h



【木更津支店お取引先】

(株)落花生工房かずさ屋 様
 〒292-0832
 木更津市新田1-1-28
 ☎0438-22-0038(担当:鈴木久登志)
<https://www.r-kazusaya.jp/>

【お店から】

当店では、西かずさ台地(木更津・袖ヶ浦・市原)で栽培された落花生を生産農家より直接仕入れ、良質なものを選別し自家加工しています。
 お客様に安全な商品を提供するため、保存料・添加物は使用せず素材を活かす手作業による品づくりにこだわった逸品を取扱っております。

